

2023 年 11 月 30 日

通貨ニュース

タイ:11 月金融政策委員会～1 年以上の利上げ局面は終了へ

タイ中央銀行(BOT)は 29 日に金融政策委員会を開催し、政策金利を従来の 2.50%に据え置いた(図表 1)。委員会メンバーの全会一致での決定となり、政策金利の現状維持は 22 年 8 月に利上げを開始して以降、9 会合ぶりとなった。ブルームバーグの事前予想では現状維持の予想が有力であった。

BOT は景気動向について、今年の成長見通しを従来の前年比+2.8%から同+2.4%に下方修正した。会合前に公表の 7～9 月期実質 GDP 成長率は前年比+1.5%と 4～6 月期(同+1.8%)から鈍化した(図表 2)。前期比でみると+0.8%と 4～6 月期(同+0.2%)から加速するも、こちらも市場予想を下振れた。内訳を見ると、サービス輸出の拡大と財輸入の縮小に伴う純輸出の増加が大きくプラス寄与となった。また、個人消費は底堅さを保った格好となった。セター政権は最低賃金の大幅引き上げやデジタルウォレットを通じた現金給付を実施し景気支援を強化する方針を示しているが、金融引き締め下においても家計債務は着実に積み上がっており、先行きにかけて金利負担が増大し、景気を抑制していくことが予想される。

物価動向については、BOT が定める目標レンジ(+1.0～+3.0%)を下回る水準での推移となっている。10 月消費者物価指数(CPI)は前年比▲0.31%と 9 月(同+0.30%)からマイナスの伸び率に転じ、市場予想(同+0.05%)を下回った(図表 3)。マイナスの伸び率となるのは 21 年 8 月以来で、政府の支援策によりエネルギー価格が下落したほか、食料品価格も低下したことが全体を押し下げた。タイ商務省は 11 月の総合 CPI も前年比で下落する可能性がある」と指摘した。なお、物価見通しについては、23 年は同+1.3%、24 年は同+2.0%共に下方修正された。

かかる中、経済・物価の双方において BOT が利上げを打ち止める材料が整っていたように思われる。BOT は利上げの停止について、長期的に持続可能な成長を支える上で、現行の政策金利水準が適当であるとし、利上げの終了を示唆した。また、外需の動向をはじめ、不透明な景気動向を踏まえ現行の金利水準を維持することで十分な政策余地を確保する方針を示した。

本稿作成時点で THB は 34 台後半での取引となっており、月間を通じてドル高の調整の影響を受けて持ち直しの動きが目立ったが、THB の安定性維持は BOT の政策運営において引き続き優先事項の1つとなるであろう。THB の実需面に目をやれば、経常収支は黒字を取り戻しており、足許の貿易実績は軟調ながら、昨年大きく足を引っ張った資源輸入のボリュームも縮小したことで収支としてはプラスを維持している(図表 4,5)。また、観光業の本格再開に伴うサービス輸出の拡大が今後期待されるが、中国経済の軟化を受けて同国の観光客数がやや伸び悩む状況となっており、金額をみても直近数四半期は停滞が続いている(図表 6)。外需動向に懸念が燃える限りは急速な回復を見込みにくく、コロナ前はサービス収支黒字が THB の強い需給環境を支えていたこともあり、その状況は注視したい。

金融市場部

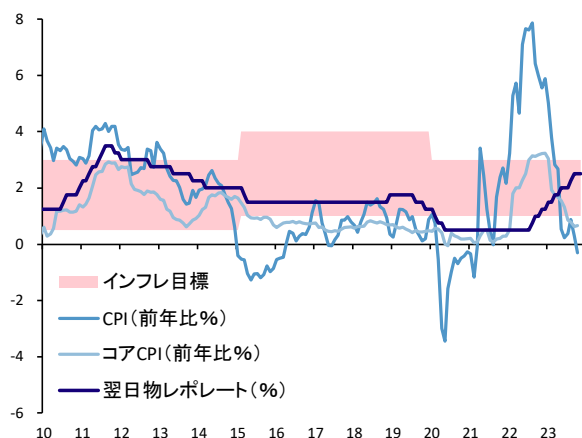
マーケット・エコノミスト

堀 堯大

03-3242-7065

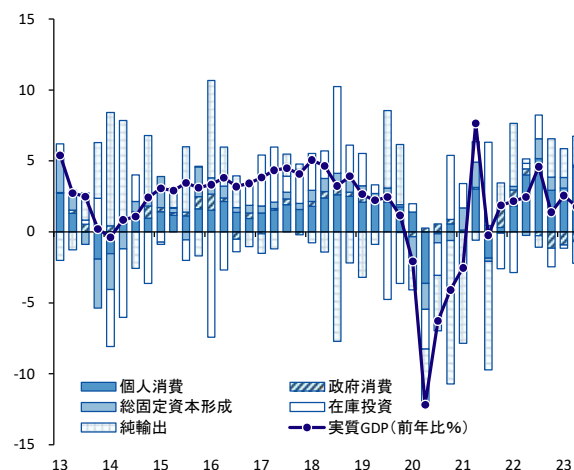
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

図表 1: タイの政策金利とインフレ率



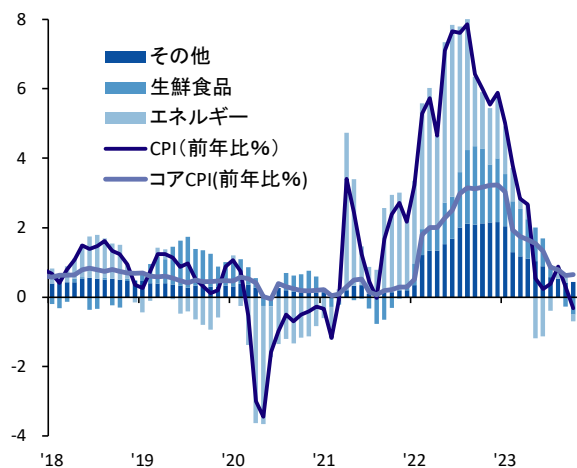
出所: タイ中央銀行、タイ商務省、CEIC、みずほ銀行

図表 2: 実質 GDP 成長率(前年比%、%ポイント)



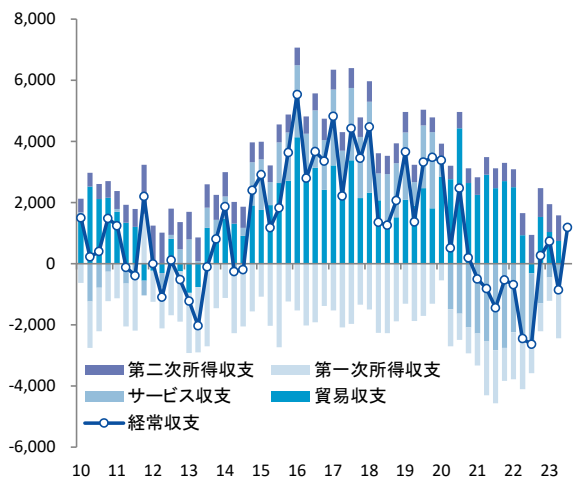
出所: タイ国家経済社会開発委員会、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3: CPI の動向 (前年比%、%ポイント)



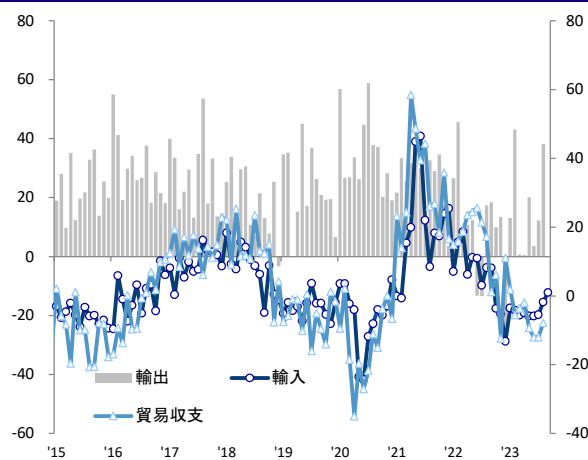
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: 経常収支の動向



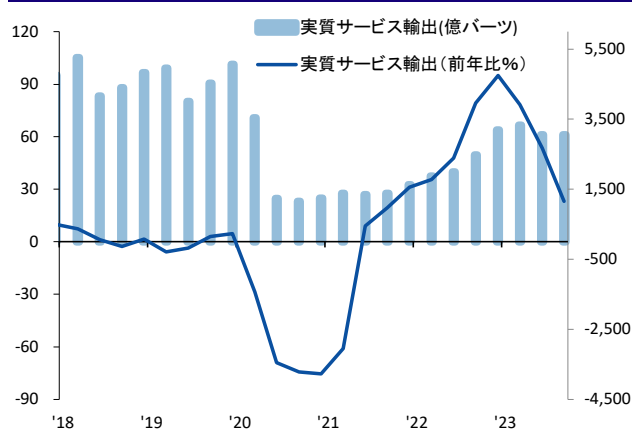
出所: CEIC、みずほ銀行 ※7～9 月期は経常収支のみ

図表 5: 貿易収支の動向 (前年比%、%ポイント)



出所: CEIC、みずほ銀行

図表 6: サービス輸出の動向



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。